政策コメンテーター報告（第3回、意見照会期間：2014年10月24日～11月５日） 高橋 はるみ：北海道知事

質問事項		記述式回答
来年秋を見据えて、現在の景気の基調		
1	９月16日の経済財政諮問会議において、2015年秋を見据えて、現在の景気の基調を見る際、以下の5項目について今後注視すべきとされました。これらを参考に、現在の景気の基調や考慮すべきリスクをどうご覧になっているか、また、とるべき対応があれば、合わせて300字以内でご記入ください。 ① 消費の安定的増加、それを支える雇用者数・賃金の伸び（正規比率の上昇を含め）や消費マインド ② 企業収益の動向、民間設備投資の強さ（設備投資計画の動向も含む） ③ 輸出入の動向、交易条件の動向 ④ 物価動向（一時的要因を除いた実勢と期待物価） ⑤ マーケット（株価、為替、金利等）の動向	消費税率の引上げは、社会保障費の増大に対応するため、いつまでも先送りできない課題であるところ、本道経済は、個人消費が8月の大型小売店販売額が2カ月連続前年を上回るなど、全体としては持ち直しているものの、9月の新車登録台数は6カ月連続で前年を下回るなど、一部に弱い動きもみられる。業種や企業の規模によっては、賃金上昇が物価に追いついていない状況にあり、原材料・燃料等の価格上昇、幅広い職種での人手不足、電気料金の再値上げ、急激な円安などを考慮するとともに、賃金の引上げや正規雇用の拡大、設備投資の増加に向けた環境づくりが必要と考える。
地方創生・地域活性化		
2	地方創生・地域活性化に向けて、重点的に取り組むべき課題及び対応策につき、ご自身（自社）の知見・経験も踏まえてお考えを300字以内でご記入下さい。その際、地方が抱える課題の背景についても、併せてご記入下さい。	地方創生に向けては、東京一極集中を是正し、地方への人の流れをつくるため、優遇税制による企業の本社機能や生産施設等の地方分散を促進するような政策、少子化対策の抜本的な拡充・強化として、全ての子どもを対象とした医療費助成制度の創設や保育料、教育費の負担軽減の導入などといった政策が必要と考える。 また、地域ごとの特性を踏まえた対策を進めるため、本道の強みを活かした農林水産業や観光の振興など、地域の戦略的な取組を支援する複数年にわたって効果的に活用できる自由度の高い交付金・基金の創設などが必要と考える。
その他		
3	10月下旬の為替相場は107円台付近で推移しています。最近の為替相場の動向やその景気への影響について、ご見解があれば300字以内でご記入ください。	円安の進行などにより、道内においては、自動車関連分野を中心に生産活動が上向き、また、北海道を訪れる外国人観光客も過去最高を記録する一方、輸入原材料価格等の上昇など広くコスト増の要因となり、中小企業の企業経営に影響を及ぼすとともに、家計を圧迫し消費マインドの低下を招いている。更に、最近の急激な円安の進行により、先行きの不透明感が増加することが懸念される